



志津道は男体裏掛、三山掛

『男体山、御嶽山（大真名子山）、太郎山』への行人たちが辿った長い道のりである。白装束を纏った行人たちが、一日がかりで志津の「常火屋」に着き、ここを拠点にして、男体山裏掛及び三山掛「男体山、御嶽山（大真名子山）太郎山」を行った。志津道は林道に分断されているもののウリュウ坂も微かな踏み跡を残して旧道の凹みは今も息づいている。

裏見の瀧駐車場から仮橋を渡り旧道志津道へ。林道を横切り深笹河原に沿って進む。ウリュウ坂を越えて薬研堀の水場に着く。薬研堀にて昼食休憩。帰路は「瀧懸道」を下り、慈観の滝を拝観。往復10時間余の道のりであったが全員元気に裏見の瀧駐車場に戻った。